

# とらいあんぐる菅生

平成13年度総会

## 住民委員を20名に

菅生中学校区地域教育会議は今年で8年目を迎え、7月7日午後、今年度の当番校である菅生小で総会を開催した。

昨年度の活動・決算について各委員会の委員長および事務局から報告があり、承認された。新年度の活動については、工藤議長が、「昨年度に続き、地域教育会議のあり方を問い、活動内容を研究・模索し、次年度以降の活動の基礎を築くものとする」という活動方針を提示、過半数の賛成を得た。引き続き再生委員会を続行し、再生案を検討していく。また、運営委員会からの予算案・規約改正案が事務局より出された。規約改正案については議論の結果、住民委員を概ね20名に拡大することと、事務局体制を明確にした。

(規約改正)

☆(構成)第4条 イ.住民委員

(学区内住民5名以上の推薦を得た人々の中より抽選)概ね20名

☆(事務局)第9条

1. この会の事務局をコミュニティサポートネットにおきます。また、窓口事務局は1年ごと3校で、輪番とします。
2. 事務局長の選出は、委員の互選によります。また、事務局員は若干名とします。

### 住民委員募集中！ 菅生中学校区在住の方

地域のこと、学校のこと、大人自身のこと、子どもたちのよりよい教育をめざして、一緒に考えませんか！詳しくは、事務局にお問い合わせください。

## 再生委員会 8回目

昨年度は、21世紀にふさわしい菅生中学校区地域教育会議への再生をめざし、活動そのものを見直すための話し合いが7回も開かれました。

13年度も、再生委員会での話し合いを続けます。『とらいあんぐる菅生』では、第7回再生委員会まで報告しました。総会の後、7月17日に行われた第8回目の会議の内容についてお知らせします。

工藤議長から、地域教育会議を再生しなければならない理由について、あらためて発言があった。「80年代に学校が荒れた時期、問題行動への対応策が考えられ、学校は地域へ協力をお願いした。しかし、教育制度や偏差値教育の仕組みに対する根本的解決はされないまま今日に至った。その間、住民は学校教育のあり方を考えていくのは、大人としての責任であると考えようになった。一方、学校は、『住民はお願いしたことだけ協力してほしい。住民の声を学校の運営方針としては入れない(住民の声は学校教育推進会議で聞く)』という体制は変わらない。私たちが考えるのは『学校はどうあればよいのか』を、学校と親、住民が話し合い、地域教育会議としてできる部分をやっていく。その基本の話し合いが行われた上で、『青少年の居場所をどうするか』といった具体的な活動を考えていきたい。制度の面にも踏み込んで話し合う必要がある。そのためには、学校と住民のパートナーシップが重要」と説明した。これに対し、菅生中の郡司校長から「私も基本的には地域教育会議が『お手伝いの』であってはいけないと思うが、皆さんの意見を伺いたい」との申し出があり、参加者がそれぞれ意見を述べた。例えば、「学校行事に地域の人材を要請する場合、企画の段階から参

画することが、子どもにとってよりよい教育へつながるのでは」「PTA活動は全般にお手伝いの」「PTAでもきちんと学校と対等にやっているところもある」「地域教育会議で、学校・親・住民が教育に参画することで、学校も地域もよくなると考える」などの発言があった。

また、郡司校長は「地域教育会議の活動が不十分であるなら、規約は変えずにもっと活動を活発化すればよいのでは。学校の問題については、14年度から試行される学校教育推進会議などで、地域教育会議として発言していくことで対応できるのでは」と話した。これに対し、発足当初から住民委員として関わってきた生駒委員は、「菅生中学校区は発足当初から活発に、しかも主体的に活動してきたと思う。しかし、イベントやシンポジウムをやることはもちろん大事なことが、活動を見直そうという動きがあり、運営委員会などで話し合ってきた経緯がある。そんなとき、工藤さんが議長になった時点で再生の提案が出た。工藤さんの提案と、地域教育会議の指針となる川崎市教育懇談会の『いきいきした川崎の教育をめざして』の提言は一致している。今、地域教育会議の本来めざすものを追及する時期ではないか」という説明があった。

## 完全学校5日制にむけて

来年度から学校は土曜日がお休みになります。休みには、子どもたちが生活体験や自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動など、さまざまな体験や活動を通して「生きる力」を育むことが望まれています。地域や学校での取組みを取材してみました。

## 公共施設・学校では

### 菅生小学校

14年度完全週休2日制の実施に向け、「教育課程の編成」、「日課表の作成」等の準備作業を行っている。「日課表」については、本年度（13年度）より準備段階として変更が実施された。土曜日の授業が4校時であったものを全学年3校時にし、下校時刻を11時35分に早めたり、毎週均一の時間割りを週により変動する時間割を組み立てるなど、本年度の「日課表」については来年度をみこして変更が加えられている。

休日日数の増加に対する児童の指導に関しては、現行も月2回週休2日制が実施されていることから、現行の延長線上との認識で特段の指導は考えていない。

### 稗原小学校

休みの日に教職員が来て何かをするということはない。むしろ、それぞれの地域の大人の一人として活動していくことになるのでは。学校施設の開放という形は今後も広がると思う。

### 菅生中学校

部活動との兼ね合いもあるが、基本的には生徒が、家庭や地域の活動やボランティア活動ができるように配慮することを検討中。

### こども文化センター（菅生・蔵敷）

特に行事を増やすなどは考えていない。4月以降の様子をみて考えていきたい。第2・第4の土曜休みは、子どもの利用が少なかった。子どもにとって学校がある方が来やすい。しかし、4月から分散して来館者が増えるかもしれない。行事も、時間の幅が広がり、午前から午後にかけての行事もやりやすくなり、土曜日の行事のパターン化が出来るかもしれない。

### 菅生分館

基本的に大人対象の事業を開催しているので、今のところは週休2日の対応は特に考えていない。

子どもたちの休みの日が、塾通いやゲーム、テレビだけでつぶれてしまうのではなく、さまざまな体験や、友だちや年齢の異なる子ども同士、あるいは大人との交流を通じて、豊かな「子ども時代」をすごすことができる機会としたもの。

学校や、行政に何かしてもらうのを待っているのではなく、私たち地域の大人が何ができるのかを考え、行動していくことが必要になってきているのではないのでしょうか。

## ほっとコーナー

ヤギさんを飼っているお宅があると聞いて、カメラを持ってたずねました。初山2丁目の矢澤さん宅に3頭、菅生5丁目の吉岡さん宅に1頭いました。



上 矢澤さんちの母ヤギ「クララ」から生まれた3頭の子ヤギのうち、吉岡さんちの子になったモモちゃん。柿の葉っぱをムシムシや・・・ツメエ

左 手前がクララ。1日に1.5リットルのおっぱいが出るそう。ママのそばで遊ぶ2歳のメイと、妹のユキ。ちなみにヤギたちは全員メスだそう。

## 地域では

菅生こどもセンターわんぱく生活学校



ONE パーク

菅生こども文化センター「わんぱく生活学校」が第25回を迎えたのを機に、その当時職員として企画・実施にあたった創設者であり、現在も代表として指導にあっている針山直幸氏に話をうかがった。

第1回の「わんぱく生活学校」が実施されたのは昭和52年（1977年）。それから25回を数える今日まで毎年必ず実施されてきた。

対象は小学校3年生から6年生。募集人員は50名程度。その小学生を当初は心ある大学生がリーダーとして面倒をみていた。「僕等のお兄ちゃん、お姉ちゃん」として人気者だった。

第3回のことである。川原でキャンプ中に集中豪雨にあった。大学生のリーダー達は避難道を確認し、テントを守り、子どもの気持ちを鎮めるなど、奔走していた。その姿を見て中学生がテントから飛び出してきて職員に言った。「僕達にできることはない？ 僕達はどう子どもじゃない」と。そのとき、「来年からは地元の中学生をリーダーとして育成していこう」と職員は思ったという。現在にも通じている中学生リーダーの誕生の由縁だ。

その後、第23回（1999年）開催のときだ。それまで川崎市として主催してきたが、経費削減のため、こども文化センター職員のキャンプ参加費が削減され、「わんぱく生活学校」

も廃止の危機となった。そのとき、「子ども達が楽しみにしているキャンプを何とか続けたい」と、これまで「わんぱく」を支えてきたリーダー達同士が相談し、以後、針山氏を代表に地域の有志による自主事業として存続させている。メンバーはこども文化センター職員経験者やリーダーとして長年活躍してきた経験豊富な方々だ。

「子ども達はわんぱくに参加すると必ずひと回り成長する。それは自分で考えて行動しなくてはならないから。自分で筋道をつけた行動は、失敗しても必ず肥やしになる。その肥やしは自信を育む。学校の勉強も大事だが、その勉強を生活に結びつける学校。それがわんぱく生活学校の精神」と針山氏は語る。そして、今回、新たに10月から菅生こども文化センターを拠点に、月一度、野外活動を展開することになった。その名も「ONEパーク」（ひとつの広場という意味）。「職員が参加しなくなった今、子ども達は夏の思い出を反すうする場所がなくなった。以前はアルバムを見ながら、文集を見ながら思い出を語ると、

地域には、子ども会をはじめ、少年スポーツグループなど多様な団体や、自主グループが活動しています。今回は、10月から始まる菅生こども文化センターを拠点とする野外活動「ONEパーク（ひとつの広場）」を紹介し、毎月、菅生の自然を舞台に、野外料理を作って食べたり、おもいっきり遊んだりする企画が盛りだくさん。この活動を動かしているのが、長年「わんぱく生活学校」に子どもときから関わり、力をつけてきたリーダーたちや、地域の大人たちです。

## 菅生に育ち「わんぱくっ子」をつくりだす



次年度に『やる気』がなくなった。そうした反すうの場がなくなった今、それを立て直すには、リーダー達自身が日常をつくるよりほかはない」と針山氏は新たな踏み出しである『ONEパーク』への思いを語る。

来年からは学校の完全週休2日制が開始される。地域で育ち、地域を基盤に活躍し、菅生のわんぱくっ子をつくりだしているリーダー集団に、子どもたちの豊かな空間と活動を支援する一翼を担ってもらえることを期待したい。

## 子どもたちは

第25回わんぱく生活学校感想文集から

★わたしは、初めてわんぱくに来たので、ドキドキ、ワクワクしました。でも、ともだちや妹もいたので少し安んじました。友だちが3人できたのでよかったです。（小4女）

★ぼくたちは道志川で川遊びをしました。川の中に魚がいました（15～28cm）。高さが4～5mの所から、△さんがジャンプして、あとから口くんと◇さんがやりました。ぼくはすごいと思いました。（5年男）

★この3日間であんなに楽しかった事はいろいろあります。花火・キャンプファイヤー・ジョニー・ポイントラリー・川遊び。・・・ジョニーは養殖場からついてきた犬。キャンプファイヤーは、『今日の日はさようなら』をうたっている時、☆になったのがよかったよ！中1になったらリーダーやりたい。いろいろな仕事がしたいから。来年もさ来年も行こう。（小5女）

★自分にとって3回目のキャンプは25回目にふさわしいキャンプになったと思う。・・・ナイトハイクも初めておどかす側になって超こわかった。カマドウマと2人で話した。あいつは足が長かった。キャンプファイヤーもナイトハイクも突然の雨だったけど、全然気にせずに楽しめた。バスレク…気持ち悪いほどきんちよして、思うようにできなかった。やっぱり今の自分の中でメインはキャンプファイヤーで、やる気満々だったのに、○くんに注意されまくりで悔しかった。先輩リーダー達にも○くんにもたくさんたくさん助けってもらって本当にうれしかった。ヨカッタ！ファイヤーのさいご、星の輝きが感動しまくりの、タンポポ de うるうるの…一生忘れないうぜ、わんぱくっ子たちよ！みんなみんなありがと、そしてこれからもよろしく!!! みんな大好き!! まった来年（中2女リーダー）

## 新企画

### ONEパーク参加者募集中!

都合がつかず月だけの参加もOK  
全回参加ももちろん大歓迎

- 10月 トン汁作って食べて、長沢六地藏ポイントラリー
- 11月 ホットドック&サラダを食べて、落ち葉で遊ぶ  
ネーチャーゲーム 焼芋パーティもあるよ
- 12月 もちつき大会、はねつき大会
- 1月 手打ちうどんづくりと竹細工
- 2月 肉まんづくりに挑戦のあとに忍者修行
- 3月 みかん狩り&ジャムづくり  
棒つきパンづくり

第4土曜日 10:00～15:00 ころまで  
対象 小学2～6年生 30名程度  
費用・実費 各回200円～300円  
【申込】10/20（土）まで  
菅生こども文化センターへ TEL(976)0444  
【問合せ】針山 TEL (977) 7874  
井本 TEL (979) 6630

# お知らせコーナー

## ●菅生小学校 TEL977-0914

☆菅生フェスティバル 11/3(土)

9:30~11:30 こどもの活動

12:30~14:30 バザー

☆公開授業参観日 11月に予定

「かわさき子どもの権利の日(11月20日)」

を記念して

## ●稗原小学校 TEL976-4557

☆親子カーニバル・バザー 10/14(日)

8:30~12:30 カーニバル

12:30~ バザー

## ●菅生中学校 TEL 977-8787

☆授業公開・文化作品展示週間 10/22(月)~26(金)

☆合唱コンクール・演示発表 10/26(金)

会場 宮前市民館

☆文化教室(AM)・ふれあいバザー(PM) 10/28(日)

☆駅伝大会(多摩川マラソンコース) 11/2(金)



## ●宮前市民館菅生分館 TEL977-4781

☆公開講座「地域とのかかわり方」11/9(金) 10:00

講師 十文字 美恵 [主催] 子育て講座2001年

[申込] 横溝 (977) 5398 保育希望 10日前まで

## ●菅生こども文化センター TEL976-0444

☆絵本の読み聞かせ・紙芝居 10/17, 24, 31(水)

15:00~16:00 当日直接

☆ビーズアクセサリーづくり 10/12(金)15:00~16:00

100円 申込制

☆めんこ遊び 10/13(土)14:00~15:00 当日直接

☆きつずハイキング 東高根森林公園 10/28(日)

9:45集合 14:30閉会 100円+交通費 申込制

## ●蔵敷こども文化センター TEL977-2577

☆こども映画会 10/10,11/14,12/12(水)15:00~16:30

だがしや 14:30

☆おやつ作り(フッフル) 10/20(土)14:00~16:00

☆TVゲーム大会 12/1(土)14:00~16:00

☆こどもフェスティバル 12/8(土) 10:00~14:00

### 第8回コカ・コーラ環境教育賞受賞! 菅生小

菅生小では10年ほど前から環境教育や環境保全活動に取り組んでいる。平瀬川を生かしたまちづくりを進める地域の活動に参加したり、リサイクル活動を行い、「キッズ・レポート」を作成するなど活発な環境活動を展開している。

## 13年度委員会メンバー表

|      | 生涯学習委員会 |   | ふれあい委員会 |   | 広報委員会  |   | 青少年委員会 |   |
|------|---------|---|---------|---|--------|---|--------|---|
| 委員長  | 伊藤 千代子  | 住 | 尾崎 富栄   | 住 | 七浦 美知子 | 住 | 杉田 裕   | P |
| 副委員長 | 岡崎 進    | 住 | 古川ツグ子   | 子 | 長谷川 礼子 | P | 菅野 礼子  | P |
| 会計   | 大和 幸美   | P | 丸山 量子   | 子 | 望月 優子  | P | 菅野 輝夫  | 青 |
|      | 本郷 千づる  | 住 | 近藤 明美   | P | 生駒 みを  | 住 | 朝倉 君子  | P |
|      | 矢澤 茂    | P | 秋元 孝子   | P | 日高 とも子 | 住 | 井上 ひとみ | P |
|      | 川口 尊志   | 自 | 五月女 淳子  | P | 峯岸 恵子  | 住 | 伏木 一枝  | P |
|      | 坂大 トキエ  | 住 | 根本 俊隆   | 自 | 高木 由美子 | P | 植益 裕子  | P |
|      | 杉田 公男   | P | 薄井 健雄   | 民 | 竹間 弘   | P | 服部 征男  | 防 |
|      | 中村 康人   | 非 |         |   | 中島 美和子 | 住 | 新井 通夫  | 防 |
|      | 荻田 和博   | 非 |         |   | 野坂 多門  | 非 |        |   |

※住…住民委員 P…PTA 父母委員 子…子ども会役員 自…自治会役員  
防…防犯委員 青…青少年指導員 民…民生委員 非…非選出委員

## 非選出委員

|       |                 |       |                 |
|-------|-----------------|-------|-----------------|
| 郡司 常雄 | 菅生中学校校長         | 杉浦 卓児 | 地域教育会議担当教諭(菅生小) |
| 矢野 祐三 | 菅生小学校校長         | 星野 和生 | 地域教育会議担当教諭(稗原小) |
| 黒沢 通哉 | 稗原小学校校長         | 菅原 節子 | 地域教育会議担当教諭(稗原小) |
| 桜井 康治 | 菅生小学校教頭         | 中村 康人 | 宮前市民館菅生分館主査     |
| 小柴 通利 | 地域教育会議担当教諭(菅生中) | 野坂 多門 | 菅生こども文化センター館長   |
| 相楽 清孝 | 地域教育会議担当教諭(菅生小) | 荻田 和博 | 蔵敷こども文化センター館長   |

事務局 生駒 みを 佐藤 久美